※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１６

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「精選　論理国語」　（三省堂）						
副教材等	「新訂版　最新国語便覧」（浜島書店） 「意味から習得　音訓別　重要頻出漢字リアルマスター３３００」（尚文出版） 「図でつかむリード現代文２　標準」（啓隆社） 「小論文頻出テーマ　チェック＆ワーク」（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・各自の進路実現のために、自分で読み、聞き、考え、書いて発表する、という国語の力を意識して身につけましょう。就職、進学（文系・理系）いずれも上記の国語力は必要であり、今後も更に磨きをかけていくことが、責任ある社会人として必須課題です。
・教科書は大切です。書き込みをして「自分の読み」のための努力をしましょう。
・漢字・語彙力は、高校３年生の今努力すれば習得できるはずです。小テスト満点を目指して学習し、粘り強く取り組みましょう。
・小説、随想、評論、さらには韻文において、それぞれにふさわしい読み方を工夫しましょう。
・話す力は目的を持ったスピーチが望まれます。グループ発表などを通して練習が必要です。
・書く力は単なるテクニックだけでは向上しません。的確な学習と入念な推敲によって養われます。すぐれた文章を読んだ上で、自分のオリジナル表現ができるように、努力が必要です。
・教養としての国語は人生を有意義に過ごすために大切です。便覧や文学史に親しみましょう。
グローバル化とは、語学だけでなく文化を知ることが重要。日本文化の素養があって初めて、相互理解が進むでしょう。国語力を必要としない職場はありません。皆さん頑張りましょう。

2　学習の到達目標

表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
(2)論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。
(3) 主体的・対話的で深い学びをとおして、実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、実生活において実践しようとする姿勢を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解し、時と場合に応じて的確に使用することができる。	文章の種類を踏まえて内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。また、意図に応じて適切に表現し、幅広く読むことで自分の考えを深め、発展させることができる	言葉を通じて積極的に他者と関わり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	「情報社会」を生きる ［教材］ ・情報ネットワーク社会 ・疑似群衆の時代	a：文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b［ 読 ］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら、要旨を把握している。 c：進んで文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉えて要旨を把握し、文章の内容について説明したり話し合ったりしようとしている。	定期考査	定期考査	振り返りシート 小テスト ノート
	言葉を見つめる 国際社会を考える ［教材］ ・「対話」の言葉をつくる ・南の貧困/北の貧困	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［ 読 ］：設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係つけて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：学習課題に沿って、複数の文章や資料を基に自分の考えを広げ、論述したりしようとしている。	定期考査	定期考査	振り返りシート 小テスト ノート
	小論文へのアプローチ ［教材］ ・生活・社会 ・環境 ・国際問題・異文化理解 ・日本語・日本人	a：主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 b［ 読 ］：設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：進んで主張とその前提との関係について理解を深め、学習課題に沿って、必要な情報を関係付けて自分の考えを深め、発表しようとしている。	定期考査	定期考査	振り返りシート 小テスト ノート
2学期	共生社会を創造するし ［教材］ ・母親のための酸素マスク ・講演　持続可能な福祉社会への道	a：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b［ 読 ］：資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 c：進んで文章の構成や展開の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、文章の内容や構成を的確に捉え、調べた成果を発表しようとしている。	定期考査	定期考査	振り返りシート 小テスト ノート
	経済について考える ［教材］ ・落語の中の経済学	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b［ 読 ］：関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。	定期考査	定期考査	振り返りシート 小テスト ノート

※令和４年度以降入学生用

		c:進んで言葉そのものを認識したりすることを可能にする言葉の働きを理解し、学習課題に沿って、関連する文章の書き手の立場や目的を考えながら内容の解釈を深め、比較して論じようとしている。			
	心と向き合う ［教材］ ・恐怖とは何か	a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[　書　]:情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 c:進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習の見通しをもって、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら主張を支える適切な根拠をそろえ、調べたことを整理して論述しようとしている。	定期考査	定期考査	振り返りシート 小テスト ノート
	小論文へのアプローチ ［教材］ ・教育 ・福祉 ・政治・経済 ・情報・メディア	a:主張とその前提や反証など情報との関係について理解を深めている。 b[　書　]:多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 c:進んで主張とその前提や反証など情報との関係を深め、学習の見通しをもって、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直し、考察した内容をまとめようとしている。	定期考査	定期考査	振り返りシート 小テスト ノート
３学期	「リスク社会」を生きる ［教材］ ・コンコルドの誤り	a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[　読　]:文章の種類を踏まえて、資料と関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 c:進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、資料との関係を把握して内容や構成を的確に捉え、自分の考えを論述しようとしている。	定期考査	定期考査	振り返りシート 小テスト ノート
	小論文へのアプローチ ［教材］ ・科学技術 ・医療・看護	a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[　読　]:文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 c:進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、資料との関係を把握して内容や構成を的確に捉え、自分の考えを論述したり討論したりしようとしている。	定期考査	定期考査	振り返りシート 小テスト ノート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　　（　　）時間

※令和４年度以降入学生用

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　７５　）時間